

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第56回（令和2年第7回）理事会議事録（案）

日 時：令和2年11月19日（木） 15：30～17：30

開 催：Web 会議

東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバン 4 階

出席者：大賀 正一（理事長）米田 光宏、滝田 順子（以上副理事長）、井上 健、
小川 千登世、奥山 宏臣、康 勝好、塩飽 仁、高橋 義行、滝 智彦、菱木 知郎、
藤 浩、瀧本 康、松本 公一、盛武 浩、井上 健（以上理事）、檜山 英三（監事）
菊田 敦（第62回学術集会会長）、井上 雅美（第63回学術集会会長）、
越永 従道（第64回学術集会会長）、細井 創、足立 壯一、大植 孝治、
上別府 圭子（以上オブザーバー）

欠席者：多賀 崇、天野 功二、西川 亮、（以上理事）

冒頭に、本日の理事出席者数は17中14名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、大賀 正一理事長が議長となり、以下の議案について逐次審議に入った。

I. 前回理事会議事録（案）の確認

議長より、前回議事録（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者の件

松本庶務・財務担当理事離席中のため、大賀理事長より、資料をもとに現在の会員数および入会申請者10名について報告があり、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

2. 地区ブロック教育セミナー、緩和ケア研修会に関して盛武教育・研修委員会担当理事より資料をもとに説明が行われた。

① 地区ブロック教育セミナー講師謝金

例年：非学会員/学会員ともに2万円→3～4万円への変更案

② 地区ブロック教育セミナー予算

全7地区開催予定（昨年度の現地開催は3地区のみ）

WEB開催による事務負担増加を考慮し諸経費を含めて 20万円×7=140万円案

背景：教育・研修委員会配分予算：224万円（教育セミナー70万円+CLIC154万円）

CLIC: アイズプロダクションより見積提出有り、約50万円

⇒上記①のセミナー謝金は、非学会員4万円/学会員2万円とし、

③ の各地区 20万円×7=140万円予算から捻出するとして議場にその承認が求められたところ 全員異議なく承認された。

3. 専門医制度委員会 2021年問題について

米田専門医制度委員会担当理事より、資料をもとに説明がなされた。

① 地区セミナー単位上限について

教育・研修委員会の依頼により、各地区で行われている学会主催地区セミナーの単位の上限について討議し、「更新時に50単位を上限とする」案が承認された。

⇒教育・研修委員会も了承済

② 各WGからの報告と最終確認、文書確定

・経験症例基準の対象となる疾患については細則ではなくHPの関連文書を修正する方針である。小児がん中央診断業務に携わっている専門医の更新において、経験症例の確保困難の場合に中央診断への貢献実績(例として中央診断150例を経験症例20例相当とみなす)で代用できる、との規定を設けることが提案された。

以上につき、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

なお、規定に追加する際の文言については再度委員会内で検討し、今後の理事会で審議されることとなった。

議場からは次のような意見がなされた。

・中央診断の年間数はどれくらい有るのか。

⇒白血病の中央診断に係る医師を想定したものとなっている。

・この更新条件は、全く臨床経験が無い場合でも(例えば画像診断のみとしても)要件を満たすことになるのか

⇒ご指摘の通りで、全く臨床経験が無い場合でも要件を充たすことになる。具体的に対象となると見込んでいるのは、国立成育医療センターで検体検査を担当とする先生方であり、機械的な検査にとどまらず、専門性の高い提案を頂くこともあり、専門性の高い業務に携わっている先生が専門医資格更新をする機会が有っても良いのでは、という視点から委員会内で発案された。

・基準に達せず更新できなかった専門医の救済について報告があった。専門医機構小児科領域の猶予の基準は複雑であるため、現在本学会が設けている細則付則6(留学、出産、育児、病気、介護等は2年まで更新延期が可能)の柔軟な運用で対応することになった。

更新猶予申請書を作成する。

・**CLIC(小児医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会)**:2022年度の更新および新規申請からCLIC受講が必須となるので早めのアナウンスが必要である。

・**LCASセミナー(小児・AYA世代(思春期世代と若年成人世代)のがんの長期フォローアップセミナー)**:LCASセミナー受講者には研修の単位を認める。

・**CANCER-e-LEARNING**:受講者には10単位を認定する。

⇒上記の更新猶予、CLIC・LCAS・CANCER-e-LEARNINGの単位認定の可否に関して議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。規定に追加する際の文言については再度委員会内で検討し、今後の理事会で審議される。

・2021年問題（COVID-19対応のため2022年問題となる）

2011年4月1日に施行された専門医制度規則・施行細則において以下が規定されている。

- 暫定指導医資格の認定期間は10年間で更新はない（規則付則7）
- 認定施設には小児がん認定外科医が常勤していることが要件となっている（規則40条2）。ただしこの要件は10年間緩和要件として小児外科専門医で非常勤、連携施設勤務でも可となっている（規則付則12）。

施行から10年経過する2021年4月1日には、以下の問題が生じると予想される。

- 暫定指導医のうち2011年4月に認定された者はその資格を失う。
- 専門医認定申請時の個別症例票の暫定措置が2021年4月1日に終了する（細則付則2）。
- 小児がん認定外科医が常勤していない施設は研修施設要件を満たせない。

本年施行した研修施設の現況調査結果より、回答のあった104施設中70施設（67%）が要件を満たせなくなると予想される。これらの問題を解決するために以下のロードマップに従って専門医制度の変更を検討中である。

2020年12月 規則・細則改定案作成終了

2021年1月 規則・細則改定案理事会承認

総会（開催されれば）でアナウンス

（総会開催されなければHPおよびメールで周知）

2021年4月 各種申請用紙作成

HPの改定

2021年6月 総会で承認

2021年12月 基幹施設・連携施設申請

2022年1月 申請に対する審査

2022年2月 再審査を行って基幹施設・連携施設確定

理事会承認・HPで公開

2022年4月 新体制開始

⇒この2021年問題に関して、11月20日の臨時社員総会で報告予定となっている。

議場からは次のような意見がなされた。

・基幹施設とはどのような施設のことか

⇒基幹施設とは小児がん認定外科医の常勤等、2021年問題で緩和要件を外した要件を満たす施設である。

・小児血液・がん研修施設要件（緩和要件を外した場合）を満たしていない施設が小児がん拠点病院として認定されているのは、問題があるのではないか？学会側から厚労省へ問題提起すべきではないのか。

⇒厚労省のがん対策検討会、または拠点病院の在り方検討会で検討される。会議の場で、学会側か

ら言及していきたいと考える。

4. 常設委員会に関する規約改正について

滝規約委員会担当理事より、前回の理事会にて常設委員会及び疾患委員会の定款施行細則の変更が認められたことについて、本年 11 月の臨時社員総会で報告する予定との報告があった。

5. 次回理事会開催日程について

大賀理事長より、次回理事会開催日程について、2021 年 1 月 22 日(金)15:00～17:00 の理事会終了後、第 64 回学術集会の運営事務局コンペを開催することが提案され、了承された。

6. 疾患委員会小委員会の血小板委員会公募に関して

康疾患委員会担当理事より、説明がなされた。

小委員会の血小板委員会メンバーに関して、前回理事会にて承認されたが、今泉 益栄 先生が年齢制限(65 歳以上)の為、委員就任が難しく、欠員 1 名が発生することが判明した。欠員 1 名に対し、繰り上がり当選として遠藤 明史 先生を新たに委員会メンバーとすることについて、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

7. 報告事項

大賀理事長より、その他の報告事項があった。

① AYA week 2021 への協働のお願い

⇒本学会の元理事長 堀部 敬三 先生が共同委員長であり、昨年同様にイベントの支援の依頼があった。当該イベント開催は 2021 年 3 月 14 日～21 日、学会として、ホームページお知らせ欄への掲載、全会員への一斉メール配信で周知する。

② 日本遺伝性腫瘍学会 理事長交代の件

③ 日本血液学会 理事長交代の件

④ 内保連理事長 交代の件

⇒②～④は各団体の理事長、理事メンバー交代の連絡についての報告。

8. 令和 2 年度臨時社員総会 総会資料、当日の流れ確認

本理事会翌日に開催される臨時社員総会の資料について、読み合わせと共に、臨時社員総会当日の流れの確認が大賀理事長より資料をもとになされた。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和2年11月19日

日本小児血液・がん学会 第56回理事会

理事長 大賀正一 ⑩

監事 檜山英三 ⑩